

## ■ 多言語FM放送 ■ 【非常持出品】

今回の「香夢音 I-PAL」は、非常持出品についてです。

A	非常持出品って、聞いたことある？
B	非常持出品？ それって、家に居てて、自分や家族の命に何か危険が迫ったとき、持って逃げる品物のこと？
A	そうそう。 地震や台風などの自然災害に遭ったときの場合に、避難する時や避難した後に備えて、最低限、持ち出す必要がある品物のことなんだ。
B	一体、どんな品物があるの？ 僕の場合、いつも大切にしている、カメラやギター、パソコンなんかがそうなのかな？
A	おいおい、ピクニックにでも出かけるつもりなのかい？ 避難生活をする場合に、どうしても必要な物、自分と家族の命をつなげる、サバイバルグッズのことなんだよ。
B	ああそうか。ということは、水とか食料とか、生活必需品のことなんだね。 でも、どのくらいの期間、生活することを考える必要があるの？
A	いい質問だね。飲料水はライフラインが復旧するまでの間、食料は救援物資が届くまでの間だから、最低3日分用意したほうがいいと言ってるよ。
B	それじゃあ、1日に必要な飲料水は、3リットルが目安だから、4人家族なら36リットル、10キロにもなっちゃうね。その他にも、生活用品や貴重品、ラジオなどの情報収集用品もあるだろし、家族で分担して持ち出すとしても、子どもやお年寄りがいる家庭は、あまり重いものを持って出られないねえ。
A	そうなんだ。だから、日ごろ、家族でよく話し合いをして、何をもって出るのかを相談しておくことが大切なんだ。それらの品物は、持ち出しやすいように、袋やリュックサックなんかに入れておくのがいいね。両手が自由に使えるしね。 非常持出品は、内閣府や消防庁、区市町の防災関係課のホームページに掲載してあるよ。人数や赤ちゃん、お年寄りなど、家族構成を考え、品目を選んでおくことが必要だね。
B	だったら、家族で話し合って、持ち出し品物のチェックリストを作るといいね。そうして、それらを安全な場所に置いておき、年に1回は、確認したらいいね。 電池なんかは、使用期限もあるしね。古い品物は、十分点検する必要があるしね。気をつけなくっちゃあ。
A	君もその気になってきたね。 日本のことわざにあるように、「備えあれば、憂いなし」だよな。

### COME ON! I-PAL

**英** 来週は中国語放送ですので、次回の英語放送は再来週6月6日日曜日の午後8時55分から。「住宅用火災警報器の設置」についてお送りします。

\*-\*

**中** 来週は英語放送ですので、次回の中国語放送は再来週6月13日日曜日の午後8時55分から。「住宅用火災警報器の設置」についてお送りします。